

議会だより

2021.10.27

No. 191

山梨県昭和町議会

<http://www.town.showa.yamanashi.jp/>



第5回 若麦祭

令和3年 9月22日(水) 体育館

しょうわ



表紙写真

コロナにも
負けない若麦祭

●表題(しょうわ)については
「常永小学校 6年3組 市川 つばさ(いちかわつばさ)さん」の直筆です。

- ② 令和2年度決算審査
- ④ 9月定例会で決まったこと
- ⑨ 一般質問 ここが聞きたい
- ⑭ 町民の声

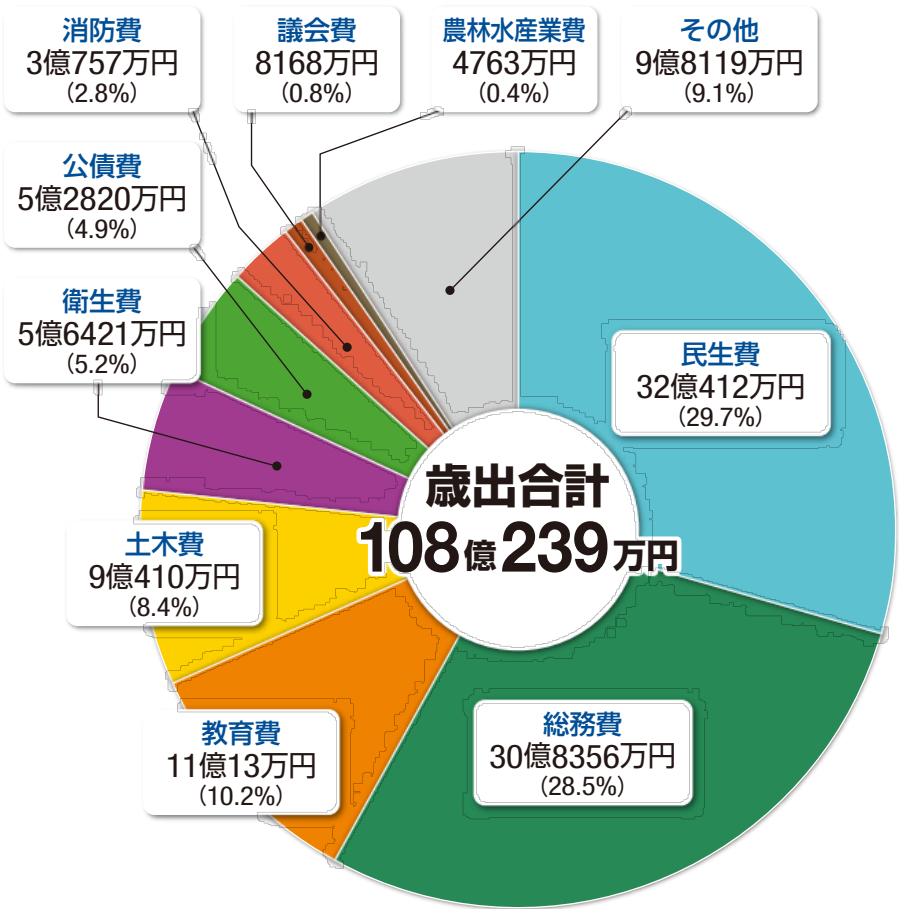
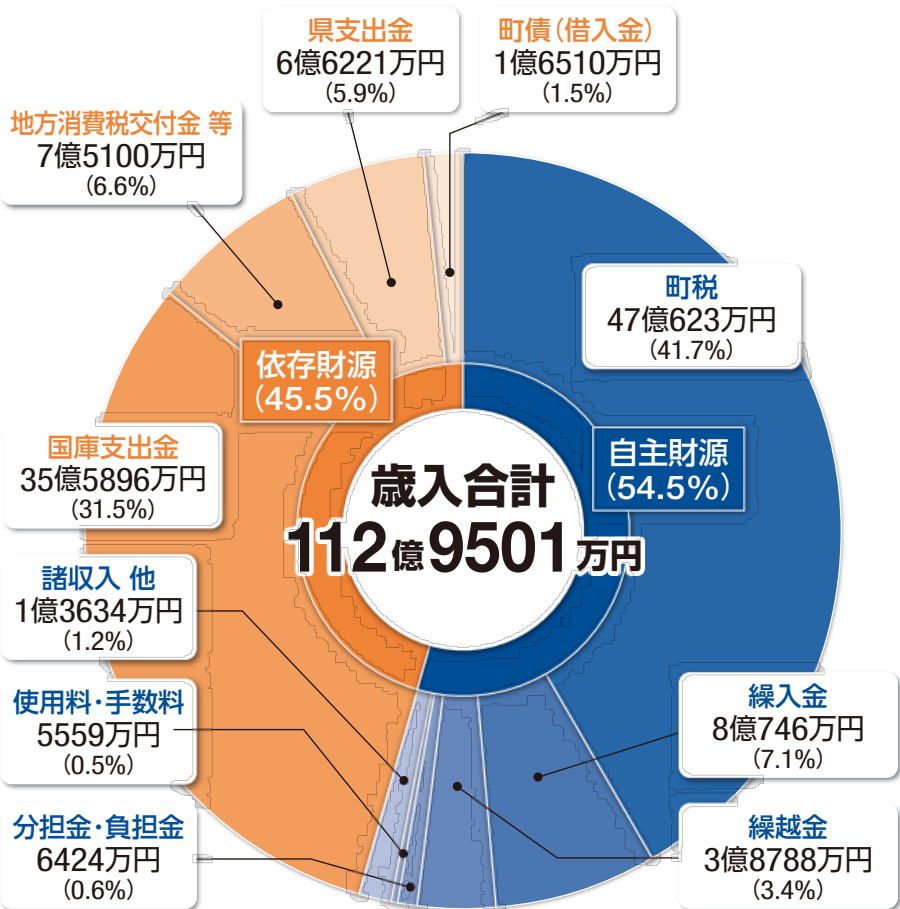
コロナ関連事業で歳出額 過去最大!

※数値は端数調整しています。

町の借金 (地方債残高・町民一人あたり)	
令和2年度	令和元年度
19.2万円	20.9万円

町の貯金 (基金残高・町民一人あたり)	
令和2年度	令和元年度
23.8万円	24.6万円

町税の内訳	
固定資産税	24億6761万円
町民税	19億1933万円
町たばこ税	2億4946万円
軽自動車税	6888万円
入湯税	95万円



令和3年第3回定例会において、当局より令和2年度一般会計決算と国保・後期高齢者医療・介護保険・介護サービス・下水道・渇水対策の各特別会計決算の議案が提出されました。

また代表監査委員より、7月26日から8月6日までの10日間で実施された、令和2年度歳入歳出決算審査の結果、各決算ともに適法かつ適正に処理されているとの報告がありました。

これに伴い設置された決算審査特別委員会において、全議員で議案の慎重審査を行い、本会議において、すべての決算議案を全員賛成で認定しました。



小林 一(こばやし はじめ)代表監査委員

9月定例会の概要と監査委員の意見

令和2年度特別会計決算

会計名	歳入総額	歳出総額
国民健康保険	17億 958万円	16億9282万円
後期高齢者医療	1億7624万円	1億7568万円
介護保険	10億8724万円	10億2637万円
介護サービス	2711万円	2606万円
下水道事業	12億 483万円	11億9755万円
渇水対策事業	379万円	324万円
合 計	42億 879万円	41億2172万円

昭和町の財政状況

項目	数 値	前年度比	説 明
財政力指数	1.189	-0.037ポイント	財政力の強弱を示す指標。1下回ると交付税措置の対象となる。
経常収支比率	87.1%	+4.8ポイント	財政の弾力性を示す指標。数値が高くなると財政の自由度が低くなる。
実質公債費比率	8.3%	+0.4ポイント	公債費による財政負担の程度を示す指標。25%を超えると地方債の発行に制限がかかる。

ほたるんに聞いてみよう!

ねえねえほたるん
自主財源と依存財源って
どう違うの?

自主財源は町税などの町に入ってくるお金で、依存財源は、国や県などから入ってくるお金だよ。

一般会計 ~主な使いみち~

民生費

- 児童支援費: 1億4207万円
- 重度心身障害者医療費: 5430万円

総務費

- 総合行政情報システム借り上げ: 4308万円
- 地域力活性化交付金: 2860万円

教育費

- 学校給食費: 2億1456万円
- 温水プール運営費: 6013万円

土木費

- 道水路新設改良工事: 1億8518万円
- 橋りょう点検委託: 647万円

衛生費

- 一般廃棄物収集運搬処理: 7599万円
- 予防接種委託: 6400万円

消防費

- 甲府地区広域事務組合負担金: 2億6015万円
- 消防団員報酬: 394万円

農林水産業費

- 道水路改良工事: 860万円
- 農業振興地域農地保全助成金: 411万円

公債費

- 5億2819万円

新型コロナウイルス感染症に伴う 昭和町の各種支援策 Vol.2



昭和町では、新型コロナウイルス感染症対策の関連事業として、これまで様々な事業を行ってきました。

令和2年10月末発行の「議会だより しょうわNo.187」では、昭和町が令和2年の10月までに取り組んでいた事業を紹介しましたが、今回はそれ以外に、令和2年度に取り組んだ事業と令和3年度に取り組んでいる主だった事業をご紹介します。



過去の事業一覧はこちら
議会だより しょうわNo.187

令和2年度

感 染 拡 大 防 止 策	①	町内保育所へ 不織布マスクを配布	町内保育所等へ2000枚を3回配布
感 染 拡 大 防 止 策	②	町内高齢者施設へ 不織布マスクを配布	町内高齢者施設(7か所)へ各100枚を配布
感 染 拡 大 防 止 策	③	町内小中学校へ 不織布マスクを配布	町内小中学校へ各1000枚を配布
感 染 拡 大 防 止 策	④	社会福祉協議会へ 不織布マスクを配布	200枚を配布
感 染 拡 大 防 止 策	⑤	移動式エアコンの設置	常永小学校へ2台設置
感 染 拡 大 防 止 策	⑥	非接触体温計・非接触 アルコール消毒機器の 設置	放課後児童クラブ及びファミサポに対し、 非接触体温計・非接触アルコール消毒機器を設置
感 染 拡 大 防 止 策	⑦	帰省学生等のコロナ 感染検査費用補助金	県外から帰省する学生や成人式出席者に、新型コロナ感染症の検査を受けるための補助事業。令和2年12月21日から令和3年1月17日までの間に昭和町に帰省する学生または20歳以下の方を対象に上限30000円を補助
医 療 者 援 支	⑧	町内医療機関へ フェイスシールドを配布	町内医療機関(38施設)へ各10セット配布

令和3年度

感 染 拡 大 防 止 策	⑨	まん延防止等対象地域への 通勤・通学者に対するコ ロナ感染検査費用補助金	まん延防止等重点措置等対象区域に通勤・通学する本町在住者が自発的に感染症検査を受診した場合、検査1回当たり15000円を上限として補助
事業者支援 経済活性化	⑩	3活プレミアム付き 商品券事業	1世帯につき、8000円分の商品券を3冊を上限に1冊5000円で販売。また、高齢者および支援が必要な世帯に対し、対象者一人につき1冊を無料配布

9月定例会で決まったこと



令和3年9月定例会は、9月1日から9月17日まで17日間の会期で開催しました。条例関係6案件、令和3年度一般会計及び特別会計補正予算関係7案件、令和2年度決算の認定関係7案件、請願1案件、議提2案件、同意2案件、その他2案件の計27案件を審議しました。

詳細は11月末更新予定のHPの会議録をご覧ください			※石原高明議員は議長のため、採決には加わっていません。
案 件 名	内 容	審議結果	
昭和町印鑑条例中改正の件	役場正面玄関に設置されていた自動交付機の撤去に伴った条例改正	可決	
昭和町手数料条例中改正の件	マイナンバーカードの再発行手数料を地方公共団体情報システム機構が徴収することとなったことに伴う条例改正	可決	
昭和町国民健康保険条例中改正の件	国民健康保険における新型コロナウイルス感染者に対する傷病手当金の支給対象期間の延長に伴う条例改正	可決	
昭和町子育て支援医療費助成金の支給に関する条例中改正の件	医療保険制度の適正かつ効率的な運営を図るための健康保険法等の一部改正に伴う条例改正	可決	
昭和町重度心身障害者医療費助成金の支給に関する条例中改正の件	医療保険制度の適正かつ効率的な運営を図るための健康保険法等の一部改正に伴う条例改正	可決	
昭和町ひとり親家庭医療費助成金の支給に関する条例中改正の件	健康保険法施行規則等の一部を改正する省令が施行されたことに伴う条例改正	可決	
町道路線認定の件	町道751号線及び町道752号線を新たに町道認定することについて	可決	
令和2年度昭和町一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定を求める件	令和2年度の一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	
令和3年度昭和町一般会計及び特別会計補正予算	令和3年度の一般会計及び特別会計補正予算について	可決	
甲斐市の公の施設を利用することに関する協議	甲斐市の公共下水道を利用する協議について 議会の議決を求めるもの	可決	
コロナ禍による厳しい財政状況に対処し 地方税財源の充実を求める意見書	行政サービスを安定的かつ持続的に提供していくため、 地方税等の一般財源総額の確保・充実を国に求める意見書	可決	
加配定数の振り替えによらない小学校35人学級の実施、中学校での35人学級の実施、教職員定数改善、及び義務教育費国庫負担制度拡充を図るための 請願及び意見書	加配定数の振り替えではなく、教職員を増員しての小中学校35人学級の実施、教職員定数改善、及び義務教育費国庫負担制度拡充を図ることを求める請願及び意見書	採択・可決	
昭和町固定資産評価審査委員会委員の選任	 任期満了に伴う昭和町固定資産評価審査委員会委員の選任(再任) おざわ かつみ 飯喰区 小澤 勝己 氏	同意	
昭和町教育委員の任命	 任期満了に伴う昭和町教育委員の任命(再任) こみやま みのる 西条二区 小宮山 稔 氏	同意	

9月定例会委員会質疑

質問は要約
されています

議会だよりではスペースの都合上、審議した議案や質問・答弁の内容を要約して載せています。会議の内容は、会議録に詳細に記録されており、ご覧になりたい方は議会事務局までお問い合わせください。

決算審査特別委員会

増収の要因は

海野委員 押原公園来

園者数が34000人ほど減少しているが、決算書では169万円ほど来年度に繰り越されている。来園者数は減少しているが収入は増加したというところか。

都市整備課長 来園者数は新型コロナウイルス感染症の影響で減少したが、人工芝グラウンド等、施設の貸出が増えたため、収入は増加した。



押原公園グラウンド

適切な不用額の処理を

長田委員 学校施設整

備費の工事請負費において、不用額が1980万円程と多いが、3月補正で減額することはできなかったのか。

学校教育課長 学校関連の費用では、急遽必要になる経費もあり、余裕をもたせているが、今回はかなりの金額が残ってしまった。来年はより精査して早めに減額する。

弁護士委託料の内容は

堀委員 弁護士委託料

が増額になっているがなぜか。県でも問題になっているので説明を。

総務課長 例年、弁護士

委託料は90万円から100万円程である。しかし、今回は旧山梨中銀昭和支店のアスベストの問題で、山梨中銀と弁護士を交え協議をし、合意に至るまでに弁護士委託料が110万円ほどかかったために増額となった。

会計年度制度の効果は

堀委員 会計年度任用

職員制度が令和2年度からスタートしたが、具体的な効果はあったか。

総務課長 具体的な効果を提示することは難しいが、働き方改革という面で変化はあった。今までは多くの臨時嘱託職員が正規職員と同じ時間まで働いていたが、30分ほど勤務時間が短くなることで自分の時間を持てるように

なり、多少のリフレッシュになっているのではないかと考えている。

今後の空き家対策は

河住委員 今年、空き家

等の対策に関する条例を策定したが、これからの具体的な取り組みは。

都市整備課長 現在、県等と相談しながら空き家バンク活用の検討を行っているが、本町の場合は空き家バンクに登録して借主を探すより、建物を取り壊した方が売却もでき、空き家対策にもなる。先進地の状況を参考にしながら補助金等についても検討している。

オンライン資格確認とは

河住委員 国保オンライ

ン資格確認導入に伴うシ



マイナンバーカードの保険証利用

ステム改修費として407万円がかかっているが、どのような事業なのか。

町民窓口課長 健康保険証がなくてもマイナンバーカードがあれば、医療機関が受診できるようにする国のシステム。ポータルサイトへの登録が必要。

10月の実施にむけて全国で3200程の医療施設で試験運用をしている。全国には約20万の施設がある。現在、医療機関は新型コロナウイルスの対応もあり、普及に時間がかかっている。

水源対策特別委員会

地下水採取の適正化に関する条例に基づく井戸設置届書について、担当課より1件の報告があった。

地方分権対策特別委員会

新たな返礼品の追加を

長田委員 ふるさと納税においては、新規商品の追加も必要と思うが、昭和町商工会とも連携して、商品券や食事券等を追加しては。

政策秘書係長 返礼品として、現在2店舗の食事券を取り扱っている。

また商工会では、共通商品券を発行しているが、ふるさと納税の返礼品として活用できるか検討していく。

産業厚生常任委員会

ひと絞り運動の啓発を

河田委員 生ごみ減量化

のために、生ごみを捨てる前に絞って水分を減らす「ひと絞り運動」の啓発を行ってはどうか。

環境経済課長 標語も

検討し、生ゴミの減量に向けての啓発を行う。

本町でもスケボー振興を

長田委員 県では東京五

輪新種目のスケートボードを振興させるため、公園などの一角に専用エリアを設ける計画がある。エリアを分けることで、スケボー愛好者と一般利用者が互いに安心できる環境が整い、地元に残まろうと考える若年層が増えるとのこと。本町の公園でも検討してはどうか。



練習場の確保を

都市整備課長 近隣住

民への騒音問題や公園内でのスペース確保等の問題から、現在町ではスケートボード専用広場等の整備予定はない。

今後スポーツとして競技人口が増え、スケートボードの競技者団体等から要望があれば、県の方針を参考にし、騒音対策、安全性・利用方法を考慮しながら施設整備について検討する。

国支給の注射器は

樋口議員 昭和町では、

国から支給された6人分取れる注射器ではなく、テルモ製の7人分取れる注射器を使っているが、国支給の注射器はどうするのか。

いきいき健康課長 一般的にはテルモ製のFNシリンジという注射器を使っているが一部国から支給された針の長い注射器も使用している。在庫は町内の医療機関に配り、インフルエンザの予防接種等で使ってもらう予定。

妊婦への優先接種は

河田委員 他県におい

て、妊婦が新型コロナウイルスに感染し、受け入れ先が見つからず新生児が死亡する事故があったことから、全国的に妊婦へのワ



妊婦へもしっかり対応

クチン優先接種が始まったが町の状況は。

いきいき健康課長 昭和町では、お盆前に12歳から49歳までの方に接種案内を送付済みで、妊婦さんもこの年齢に含まれており、すでに予約されている状況にある。

また妊娠後期の方は保健師が個別に連絡し、対応しているほか、その他の妊婦さんには、再度通知を送り、相談に応じている。

(委員:対象委員会所属議員 議員:傍聴議員)

(委員:対象委員会所属議員 議員:傍聴議員)

総務教育常任委員会

消防団員報酬の見直しを

海野議員 4月に消防庁から消防団員の報酬基準の見直しに関する通達があった。出動手当は8000円、団員報酬は36500円を基準にするようにとのこと。現在、昭和町の出動手当は10000円、団員報酬は25000円であるが今後の方針は。

分散登校の影響は

樋口委員 分散登校が実施されているが、現状は。

教育長 新型コロナウイルス感染者数の急増を受けて、県より分割授業の要請があった。昭和町は教室数や教職員数から分割授業は不可能であり、小中学校共に分散登校とした。

企画財政課長 交付団体であれば本年度から地方交付税の算入により、報酬等に対する財政支援が受けられるが、昭和町は不交付団体なので支援がなく、すぐに報酬等を上げることは難しい。団員報酬が低いということも理解しているので、今後

も議論していきたい。

児童館については、保護者が仕事を休めない場合を考慮し、午前から開放し、教職員を配置して対応している。中学生は、自宅での昼食で、授業時間数を確保している。



午後から登校する中学生

町のHPPのリニューアルは

石原(政)議員 町ホームページがリニューアルされる予定だが、スケジュールと完成予定日は。

企画財政課長 このホームページのリニューアル委託業務については公募型の「プロポーザル」入札により、現在3業者の応募があり、9月下旬に提案書の提出、10月下旬にプレゼンテーションをし、入札検討委員会にて審査をして契

約となる。今年度末には完成予定。

※プロポーザル入札とは 業者が自治体の事業にあわせて提案書を提出し、企画力や過去の実績などを総合的に判断して選入札方式

ヤングケアラーの調査は

河田議員 ※ヤングケアラーの調査について、その後どうなったか。

学校教育課長 ヤングケアラーの調査は山梨県が各学校に対して、7月中旬から下旬にかけて行っている。県内の小学6年生から高校生までの、53000人を対象に行い、9月中旬頃に調査結果を発表することになっている。

※ヤングケアラーとは 家族の介護やケア、身の回りの世話を担う18歳未満の子どものこと

タブレットの利用状況は

石原(政)議員 小中学校でタブレット端末を使った授業を行っているが、これまでの利用状況は。

学校教育課長 日常的にはインターネット検索や情報交流、タイピング等の練習を行っている。

授業では、図工作品や教材動画の鑑賞、タブレット内蔵カメラを使用した撮影など、活用方法は多岐にわたる。また、児童総会をリモートで開催するなど、4学校とも積極的に活用している。



タブレットで楽しく授業

(委員:対象委員会所属議員 議員:傍聴議員)

施策を問う\ここが聞きたい\

一般質問の内容は議会事務局及び11月末更新のHP会議録からも閲覧できます。

※質問・答弁はスペースの都合上、要約されています。

Q 子どもの体力低下への取り組みは?

A 各学校で特色ある体力づくりに取り組んでいる



河田 あけみ 議員

河田 最近の子どもたちは体力が低下しているというが、新型コロナウイルス感染症の影響で運動の機会が少ないのではないか。本町の児童生徒の体力と今後の取り組みについて聞きたい。

教育長

本町の小学校では縄跳びに力を入れた体力づくりに、中学校では町独自に体育科の町単教員を配置し、運動能力の向上に取り組んでいる。

また昨年度より総合型地域スポーツクラブ「キャメリア」と連携し、専門指導員



長縄跳びをする中学生

Q 「ゆるスポーツ」の導入を!

A イベント等で積極的に取り入れていく

河田

子どもから高齢者、障がい者など誰でもできる「ゆるスポーツ」に、町ぐるみで取り組んではどうか。

教育長

障がいの有無に関わらず

による小学校の体育授業を実施している。今後も各学校の特色ある体力向上や体力づくりを支援し、スポーツクラブとも積極的に連携・協働しながら取り組んでいく。

Q 生ごみ処理機等の利用における今後の課題は?

A 処理後の処分の方法を研究していく必要がある

河田

町が行っている生ごみ処理機等の購入補助金制度利用者への利用状況のアンケート結果と、今後の課題について聞きたい。

町長

直近5年間の調査では、助成対象としている4品目について、9割以上の人が購入から現在まで継続して使用し、購入した人たちの意識の高さを感じた。

反面、処理後の処分の方

法が分からず、購入に踏み切れない人もいます。今後、手軽にごみ減量ができるダンボールコンポストの使用した土の処分や再利用の方法を含めて研究していく。

再質問

たい肥の町の福祉作業所などでの活用を検討してもらえるか。

環境経済課長

町でたい肥をストックしておき、福祉作業所や一坪農園をしている町民の方にも活用してもらうなど、土のサイクルを検討していく。



ダンボールコンポスト

Q 公共施設のあり方の今後の方針は？

A 10月から町民の意見を聴く会を開催する予定



いしはら まさひろ 議員
石原 政信

町長が就任当初から慎重に検討していくと説明している公共施設のあり方について、今後どのように方針をまとめていくのか。

また（仮称）公共施設のあり方検討会の開催方法等については、どのように進めていく考えか。

町長

石原

の皆様からご意見をいただくことができるよう、開催時期などの詳細は慎重に検討していく。

また8月に議会へ説明した内容に対しては、今後、議員の皆様からご意見をいただくとともに、庁内会議で職員の見解も聴く中で、公共施設の機能を集約し利便性を向上させることや健全な財政運営と町民サービスを維持することを基本的な考え方として、方針案をとりまとめ、町民の皆様へ提示する。

今後も町民の皆様をはじめ議員の皆様にご理解とご協力をいただき、具体的な計画を進めるにあたっては、補助事業の活用にも積極的に取り組み、町民の皆様の満足度の向上につなげるよう進めていく。



昭和町役場庁舎

Q 副町長職の廃止と危機管理官の新設を！

A 副町長職は総合的に判断して必要と考える



ほりもと もんたろ 議員
堀 門太

堀

本町の町政運営をするうえで、町長と総務課長が中心となり各課長との連携を強化すれば、副町長職は不要ではないか。

一方で感染症や自然災害などの危機に対する専門的な人材が求められている。自衛隊などから危機管理官を新たに迎え入れるべきではないか。

町長

副町長は複雑多様化する行政業務、町民ニーズに迅速に対応するために重要な役割を担っており、また行政経験に基づく知見や行政組織の横断的な取りまとめに関して非

常に重要なポストである。

町民ニーズに対し、多様な考え方を整理し、一貫性、公平性、統一性に基づき、客観的に判断し、方策を示していくことが町民の皆様の負託に応えることとなり、総合的に判断し必要であると考えている。

危機管理官の新設については、本町の危機管理部門は、これまで企画財政課内に危機管理係を設置し、甲府市との人事交流や防災士の資格取得により、その知識と経験を活かし、地域防災計画の策定における全庁的な調整を行っている。

引き続き担当職員により防災業務の充実を図り、県や国の専門部門との連携を図りながら防災力の強化に努めていく。



有事に備える

Q 家庭用防災発電機の購入補助を！

A 国・県の補助金等を調査し町でも検討する



うみ ゆたか 議員
海野 豊

海野

山梨県が行った地震被害想定調査では、昭和町は震度6強と震度6弱の地震が想定されている。災害発生時に町民の自助・共助を促し、避難所の人数を減らすためにも、家庭用防災発電機購入補助要綱を作成し、家庭用ポータブル発電機の購入を推奨すべきだと思うがどうか。

町長

災害時に自宅避難が可能な場合でも停電が想定されるため、家庭用発電機による電源確保は災害時の備えとして重要だと考え、災害

うが、難聴地域の解消にむけての取り組みは。

町長

防災行政無線や各地区の放送などは、建築物の密閉性や交通状況などにも影響を受け、聞き取りにくい地域が生じている。

防災行政無線については、スピーカーの新設など難聴地域の解消に努めている。また防災行政無線の情報については、「しようわ安全・安心マップ」によるメール配信、テレビの11チャンネル等でも確認できるよう対応しており、こうした情報提供の方策をさらに周知していく。

再質問

無料通信アプリ「LINE」に公式アカウントを開設し、町の情報を配信してはどうか。

企画財政課長

今年度、ホームページの全面改訂構築を行うので、運用規定を見直し、「LINE」での情報配信も取り入れていきたい。

Q 地方公会計制度の資料開示を!

A 財務書類はホームページで公開している



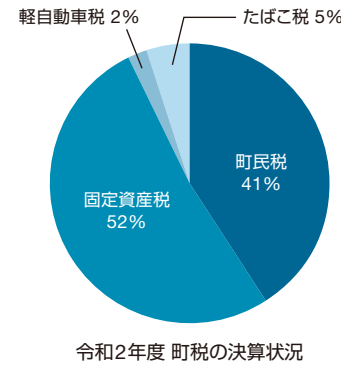
河住 保茂 議員

河住

町の財政の透明性を高め、説明責任をより適切に果たす観点から、決算審査の際に財務書類4表を開示することはできないか。また経常収支比率や財政調整基金の比率から、町の財政運営についてどう考えるか。

町長

地方公会計制度はすべての地方公共団体において統一的な基準による財務書類の作成が必要とされ、本町においても財務書類の作成を行っており、ホームページで公表している。



令和2年度の財務書類については、議会において決算の承認に基づき作成する。また令和4年5月頃にホームページへの公表と、議会にも資料を提供する予定だ。

また財政運営の健全性を確保するためには、年度ごとの収支の均衡を保持するとともに、財源の変動に対する財源調整を図る必要がある。財政調整基金がその役割を担っているが、規模については法的な規定はない。しかし大規模災害や今までになかったウイルス感染症対策など不測の事態が発生した場合や極端な税収減に対応するための財源として、標準財政規模の20%強程度を維持しておく必要があると考える。

Q 橋梁長寿命化修繕計画に基づき橋の修繕を!

A 耐震化も含め、国の補助金を活用して進めていく



長田 信夫 議員

長田

管理する橋の維持管理費用の低減や災害への対策として計画的に橋の修繕を行うため、橋梁長寿命化計画を策定したが、厳しい財政状況から計画通りに修繕が進んでいない。

今後予想される震災等に対し、安全な避難・輸送ルート確保のためにも、計画に沿って修繕を進めるべきと思うがどうか。

町長

これまで昭和町橋梁長寿命化修繕計画に基づき、26橋については令和元年度まで



常永跨線橋

本年度実施している5年ごとの橋梁点検の結果に基づき、令和4年度に橋梁長寿命化修繕計画を現行の基準に合わせて見直す。そのほか現在策定を進めている国土強靱化計画に、橋梁の耐震化を含め国の補助要件に適合するよう反映させていく予定だ。

また起こりうる大地震に備え、耐震化についても関係機関と連携する中で、優先順位を見極めつつ早期に着手できるよう努めていく。

Q 昭和町の湧水を使ったボトルウォーターの製造を!

A 可能であるか調査する



田中 博愛 議員

田中

本町は湧水豊富な地域であり、この水資源を活用して飲料用ボトルウォーターを製造してはどうか。

会議等で飲んでもらうことで「昭和町の水」を対外的にPRしつつ、ふるさと納税の返礼品や非常用飲料水として利用すれば町にもメリットが大きいと考える。

町長

近隣市の取水の状況を確認したところ、甲府市は昇仙峡からの表流水を原水として平瀬浄水場で取水し、甲斐市と中央市は地下100m以上の深井戸から取水

Q 町の歴史文化マップの作成を!

A HP等を活用し、積極的に町の歴史を発信する

人口増加に伴い、新住民から本町の歴史についての問い合わせも寄せられているので、昔からの町民に再認識してもらう目的を踏まえた歴史文化マップを作成してはどうか。

教育長

教育委員会では町の歴史や文化を題材とした書籍や冊子、資料集、パンフレット



町内の文化財のガイドブックとウォーキングマップ

の発行している。

平成28年度からは、歴史講座を開催している。広報や町のホームページ等でも情報発信している。

また町内の文化財や見どころをウォーキングコースとして紹介している「昭和いきいき文化財ガイドマップ」や、町のことを知る「昭和町ふるさとかるた」は、小中学校の地域教材としても活用しているほか、希望者は購入できる。

新たな町の歴史文化マップの作成については、今後の町のホームページのリニューアル計画にあわせ、子どもから大人まで楽しく学び、親しまれるページとなるよう努める。

「議会だより しょうわ」を 読んでみて

モニターさんからの意見集



昭和町議会では、議会モニターのみなさんに議会だよりに関するアンケートへご協力をいただいています。今回は、「議会だより しょうわ第190号」について、議会モニターのみなさんからいただいた貴重なご意見等をいくつかご紹介させていただきます。

議会だよりしょうわ第190号について、こんな意見をいただきました。(一部掲載)

「町民の声」「昭和町に住んでみて」について

- 町民の生の声に興味があったが、内容は予想通りのものでちょっとがっかりだった。
- 町民の声や住んでいる人の声は大事。人数、文字数もちょうどいいと思う。

「新議会構成決まる!」について

- 委員会というものが具体的に何をするのか見えてこない。

「議会クイズ」について

- あまり意味のないコーナーの気がする。「こんなご意見をいただきました!」のアンサーを表記した方がいいと思う。

その他議会だより全般について

- 過去に企画したかもしれないが、夏休みを迎え、子どもクラブやスポ少の子どもたちの写真を表紙に使ったと思う。(数名の子どもではなく、チーム全員の集合写真等)このご時世なので、自粛しているかもしれないが。

議会の動き(一部掲載)

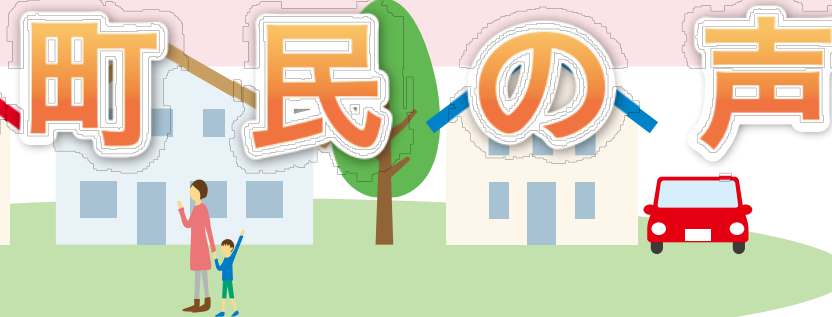
7月

- ▼1日(木) 富士川町訪問
- ▼5日(月) 広報編集常任委員会
- ▼8日(木) 甲府地区広域行政事務組合議会運営委員会 全員協議会
- ▼9日(金) 町村議会広報研修会
- ▼12日(月) 広報編集常任委員会
- ▼15日(木) 町村議会議長会議
- ▼16日(金) 山梨大学研修会
- ▼16日(金) 広報編集常任委員会
- ▼20日(火) 甲府地区広域行政事務組合議会臨時会
- ▼21日(水) 産業厚生常任委員会
- ▼21日(水) 町村議会運営委員長会議
- ▼26日(月) 全員協議会
- ▼29日(木) 決算審査
- ▼29日(木) 押原中学校建設検討委員会

8月

- ▼2日(月) 決算審査
- ▼4日(水) 新型コロナウイルス対策委員会
- ▼25日(水) 議会運営委員会
- ▼26日(木) 全員協議会
- ▼27日(金) 広報編集常任委員会
- ▼27日(金) 甲府地区広域行政事務組合議員懇話会
- ▼31日(火) 中巨摩地区広域事務組合議会運営委員会
- ▼1日(水) 令和3年第3回定例会(9月議会)
- ▼2日(木) 広報編集常任委員会
- ▼21日(火) 秋の交通安全運動街頭指導
- ▼22日(水) 広報編集常任委員会
- ▼30日(木) 山梨学院大学研修会
- 町道124号線視察

町制施行
50周年を迎えて



議会だよりNo.189から始まった企画「町民の声」。町制施行50周年を迎えた昭和町について、町内全12地区の町民の方から感想や意見をいただきましたが、ご好評につき、もう一度町民の方々の「声」を聴いていきます。



押越菊の会は約50年前に発足し、当時は40人の会員でしたが、高齢化により今は7人が菊づくりを楽しんでいます。町ふれあい祭りと区の祭りには自慢の菊を展示していましたが、コロナ禍で祭りが中止となり残念です。コロナ感染症が早く収束して、皆さんに見てもらえるように菊づくりを楽しみたいと思います。

押越区 しみず 清水 ゆたか 裕さん

昭和町に嫁ぎもうすぐ40年になります。住みよい町に感謝しています。ご近所含め、日々人と人のつながりで元気をもらっています。今後、コロナが終息し、また町や区の行事も再開して、町民の温かい交流やふれあいが深まっていくことを心から願っています。

築地新居区 ふくた 福田 せいこ 聖子さん



昭和町に住んで21年になります。この間、育成会等のイベントを通し子ども達と楽しい経験ができたことを感謝しています。自然、医療・商業施設が揃いそして親切な地域の方々がいるこの町は子育てに最高です。今後も今のような町であって欲しいと願っています。

西条二区 はせがわ 長谷川 たかお 隆雄さん



追跡

あの質問は どうなった？

議員の質問に、町当局がその後どのように対応し、どうなっているかを追跡・検証してみました。

追跡

マイナンバーカードの普及促進と活用策を

令和元年12月議会 河田 あけみ 議員

問

マイナンバーカードは全国的に交付率が低調だが、今後、国や自治体、民間企業が独自の機能を加えていけば、サービスはさらに広がると思われる。本町ではマイナンバーカードの普及のための周知をどのように行っていくのか。コンビニ等を活用した住民サービスの拡大を検討するべきだと思うがどうか。

答

本町でもマイナンバーカードの交付率は低く、各種パンフレット等で周知、普及に努めているが、交付率は伸びていない。引き続き普及策を充実させるとともにカードの夜間交付も検討している。また今後の活用策として、令和3年をめどに、住民票などの証明書発行に係るコンビニ交付を検討している。

こう
なった

昭和町では令和3年2月からコンビニ交付が始まり、同時に役場本庁舎にコンビニ交付に対応したキオスク端末(マルチコピー機)を設置して運用している。これに伴い、本庁舎入口に設置されていた自動交付機は、令和3年7月末をもって運用を終了した。また定期的にマイナンバーカードの夜間交付も実施しており、普及率の向上に努めている。



マイナンバーカードでより便利

追跡

常永土地区画整理事業内公園に遊具の設置を

令和2年9月議会 長田 信夫 議員

問

子どもたちへの遊び場の提供や大人の健康維持を図るため、常永地区の公園に遊具を設置してはどうか。

答

「常永ゆめ広場」については、幅広い年齢層の方が利用できる公園とするため、子どもの運動能力向上を目的とした遊具や、大人の体力保持増進を目的とした健康遊具の設置を検討している。常永1号公園から4号公園への遊具の設置については、利用者からの意見や利用状況を踏まえ、検討していく。

こう
なった

令和3年第1回定例会(3月議会)に常永ゆめ広場遊具設置工事が令和3年度予算として計上され、子ども向けの複合遊具や大人向けの健康器具が設置され、多くの方に利用されている。



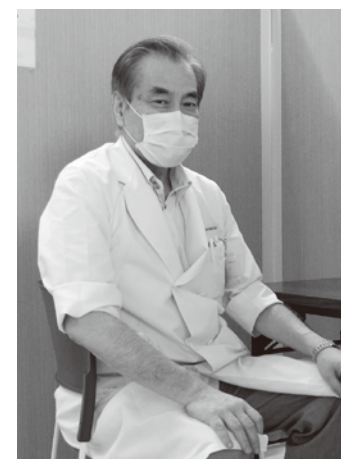
外遊びで元気いっぱい

お医者さんに聞きました ワクチンってなんですか??

ワクチンって
本当に効くの？

副反応
大丈夫？

幅広い世代に
ワクチンの基礎知識を



市立甲府病院 副院長
新藤 英夫 先生

約2年もの間、世界的に猛威を振るっている新型コロナウイルス感染症。日本ではワクチン接種の甲斐があつてか、感染者の減少傾向が見られ、山梨県でも8月下旬にピークを迎えてから急速に感染者数が減少しています。

一方、昭和町でも8月28日から12歳以上の方のワクチンの接種が進められており、10月12日時点で、すべての対象者に対する2回目の接種率は70%を超えています。

また3回目のワクチン接種についても必要性が議論されており、今後もワクチン接種の重要性は当面変わらないと思われます。

このようなことから、幅広い世代にワクチンとは何かを再度知ってもらうため、地域医療連携の中から、市立甲府病院のワクチン接種責任者である新藤ドクターに、ワクチンとはどのようなものかについて、わかりやすく説明していただきました。

新型コロナワクチンに関するQ&A

Q ワクチンとは？

A 病原体(細菌やウイルス)が体に侵入すると、体内で「抗体」が作られ、病原体を攻撃する「免疫システム」ができます。ワクチンとは、病原体を無毒化、弱毒化したものや、遺伝子情報の一部などを接種し、病原体に対する抗体を作り、免疫システムを体内で獲得するためのものです。

Q 副反応とは？

A ワクチン接種に伴う抗体産生以外の反応(症状)のことを指します。具体的には、接種部位の痛み、倦怠感、頭痛、発熱、関節痛、下痢などが多く、ほとんど1、2日で自然にようになります。1回目より、2回目の接種時のほうが、高い割合で起きます。

Q ウイルスに感染したらワクチンは打たなくていいの？

A 感染によっても抗体は作られますが、ワクチン接種後よりも抗体価(抗体の量)が低いというデータが出ており、感染確認後しばらくした時期(山梨県では1か月後以降)に2回のワクチン接種をすることが推奨されています。

Q 持病がある人も打っていいの？

A 持病があってもワクチン接種はできます。ただし、病気のため体調が思わしくない場合などは、延期したほうがよいかをかかりつけの先生とご相談ください。服用している薬剤で接種時に注意が必要なものもありますので、問診の先生にお伝えください。

Q 子どもが打っても大丈夫？

A 治験(薬剤使用開始前のデータ収集)では、12歳から18歳の人々の副反応などは成人と変わらないことが報告されています。ご心配なことがある場合はかかりつけの先生か、問診の先生にご相談ください。



新型コロナワクチンの接種については、あくまでも自己判断です。また、ワクチン接種後も感染防止対策を続けましょう。



マスク着用



手洗い



外出控え



密集回避



咳エチケット

議会クイズ

次の問いに答えてください。

Q 令和2年度の歳出額は過去最高額の「〇〇〇億239万円」

正解者の中から抽選で5名の方に図書カードをお送りいたします。

ヒント
No.191
(この号)を
読んでください



No.190に
対する

こんなご意見をいただきました！

今までいざよなりとしか知らなかった議会の構成等を知ることができました。

意見になってしまいますが、常永小とゆめ広場の間の横断歩道は子どもたちが渡ろうとしても子どもだけだと車がなかなか止まってくれないので低学年の子どもを歩かせるのが怖いです。

また、他の市町村のように子どもが生まれたらオムツの無料券等の補助があったら良いと思います。

高齢者の方が優先なのかもしれませんし、若い世代は補助がなくても昭和町に住みたい人が多いと思うので不要だと思われるかもしれませんが...

メールにて(35歳・女性)

議会だよりを拝見して改めて思ったことは、今回の「新議会構成決まる!!」を見ると一目瞭然、男性優位の議会。男女共同参画をすすめる世の中で、この内容はちょっと納得いかない。女性の立場になって議事をすすめることが出来るだろうかと不安になります。

女性の皆さん、遠慮せずに昭和町議員に立候補してほしいと思います。

メールにて(62歳・女性)

身近な議題で分かりやすく、また町議会運営の範囲が多く大変ですが、町民、特に将来を背負って立つ子どもたちのために、ご尽力をお願い申し上げます。

メールにて(72歳・男性)

「かんさの部屋 私たちがしっかり見ました」この見出しを頼もしく感じました。自治体のお金の使い方をしっかり見守ってくださっていることに安心します。

ハガキにて(84歳・女性)

町内の情勢、動き、新型コロナウイルス感染拡大防止の対応などを、よく分かるように編集されているので毎号読んでいます。

ハガキにて(85歳・男性)

ご意見をいただいた方には個別に回答させていただいています。

【応募方法】
①クイズの答え ②住所 ③氏名(ふりがな)
④年齢 ⑤議会だよりを読んだ感想
を記入して、はがき・FAXまたはメールにてお送りください。議会だよりへの要望・意見等もありましたら、お願いいたします。

No.190のクイズの答え

広報編集

【あて先】
●〒409-3880 昭和町押越542-2
昭和町議会事務局「議会クイズ係」宛
●FAX:055-275-0370
●メール
gikai@town.yamanashi-showa.lg.jp
《しめきり》11月末日 消印有効



メールに移動

山梨大学との研修会

開催日 令和3年7月15日(木)午後1時30分～午後3時30分

テーマ 近年の災害事例に学ぶ
フェーズフリーな社会の実現

内容 フェーズフリーとは、いつもの暮らしがある「日常時」と災害が起きた時の「非常時」2つのフェーズを分けるのではなく、どちらのフェーズでも活用できるモノ・サービス・アイデアによって、非常時における生活の質の維持・日常時の生活の質向上を目指す考え方である。

近年頻発する大規模な水害・地震などの事例から見えてくる課題に対する自助・共助の重要性やフェーズフリーの有効性について意見を交わした。



講師

地域防災マネジメント研究センター

はだ やす のり
秦 康範 准教授

山梨学院大学との研修会

開催日 令和3年7月20日(火)午後1時30分～午後3時30分

テーマ 地球温暖化(脱炭素社会)

内容 最近よく耳にするSDGs。この目標では「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のため、2030年を期限とする17の国際目標を掲げているが、実現のためには地球温暖化の原因である二酸化炭素やプラスチックごみの削減などが課題となっている。

この課題に対して、全国の自治体ではどのような政策がとられているのか、また政策を行ってもなぜうまくいかないのかなどについて意見を交わした。



講師

環境省環境カウンセラー

ひなた はる こ
日向 治子 氏

開催日 令和3年9月30日(木)午後1時30分～午後3時30分

テーマ 市町村間の広域連携

内容 地方自治体の自主性・自立性を高める目的で進められてきた地方分権。平成の大合併により自治体の集約は大きく進んだが、次なる施策として、近隣市町村間で連携することにより、社会的・経済的に一体性を持った連携中枢都市圏を形成する「広域連携」が進められようとしている。

これにより、圏域全体の経済成長や都市機能の集約、生活関連機能・サービスの向上が期待されている。この広域連携の他県での事例や山梨県での検証、課題等について意見を交わした。



講師

法学部政治行政学科

と がわ しん いち
外川 伸一 教授



河東中島区

日向 ひなた

渉 さん

人の温もりと自然豊かな昭和町

私は結婚を機に昭和町に住み始め、7年ほどが経ちました。妻の実家が昭和町という事もあり、近所に知り合いも多く、すぐ馴染む事ができました。

子どもが小さい頃は、近くの公園へよく遊びに行きました。公園では、グラウンドゴルフに勤しみ、元気な方が多いなと感じました。優しく声を掛けて頂いたり、お菓子も頂いたり、地域の人の温かさを感じました。

公園や近所の草むらなどでは、子どもが昆虫採集を行え、四季の草花を見られるなど、自然が豊かな地域を家族で楽しんでいます。

現在、感染症の影響で、人と関わる機会が減ったように感じられます。また、昭和町の人口が増え、昔よりもにぎやかになったことと思います。そのため、行事の行い方や子どもに関わる交通面で、これまでと変える必要が出てきたのでは感じます。そんな中でも、人の温もりや、自然の豊かさを失わない、素敵な昭和町が続いてほしいと思います。



紙漉阿原区

小宮山 こみやま

彩奈 さん

昭和町が大好き

結婚を機に昭和町に住んで約7年になります。子育てがしやすく、住みやすい町だと感じています。子どもが赤ちゃんの頃ベビーカーでお散歩をしていると、すれ違う方が挨拶してくれたり、「何か月？かわいいねー」などと優しく声をかけてくれたりしました。お散歩コースも川や緑がたくさんあり、気持ち癒やされたのを覚えています。生活の利便性も高く、近くにはスーパーやドラッグストアがいくつもありますし、イオンモールに行けば大体の物が揃います。今はなかなか行けませんが、おいしいごはん屋さんも多く、家族との外食や友人とのランチの場所に困ることもありません。少し大きくなった子どもは、田んぼの虫を見つめたり、夏は押原公園で水遊びをしたりしています。

温かい人々と自然の中で子どもを育てることができて、かつ便利に生活できる昭和町が大好きなので、これからもここで楽しく暮らしていきたいなと思っています。

編集後記

コロナ禍で始まった今年も、残り2カ月余りとなりました。9月定例会では、新しい生活様式の中、上程された議案を決算審査特別委員会や各委員会において、慎重審査し、全員賛成で認定・可決等しました。各議員もタブレット操作にも慣れ、スムーズに進行することができました。

広報編集常任委員会の全委員は、子どもから高齢者の皆さまに少しでも手に取って頂き、議会に興味を持っていただけるように、意見を出し合いすぎて、熱くなることもあります。今後とも、愛される議会だよりを目指して努力を致します。

広報編集常任副委員長

石原 政信

広報編集 常任委員会

委員長	長田 信夫
副委員長	石原 政信
委員	金丸 富一
	堀 門太
	小林 耐三
	海野 豊

議会を 傍聴 しませんか??

次回定例会は
12月1日(水)

開催予定です

【お問い合わせ】

☎275-8842(議会議務局)

